

自己評価報告書(最終報告)

報告者

自然系コース(理科)
／武田 清

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

私は本学の学生にとって、教科専門の深化こそが必要と考えている。理科の内容に関して、小学校～高等学校に亘る内容理解は各教科・科目別の内容が独立に存在し、相互のれん観が見えない形でしか知識が蓄積されていない。知識の総合化のためには、内容をより根本的な原理から理解することが肝要である。教科専門の深化は、教科内容の俯瞰を可能とし、内容の相互関連を理解することができる。その意味で、現場での実践との関わりの有無にかかわらず、内容理解の深化を目指す必要がある。この目的で、試験を課すなど、評価の厳格化を進めており、今年度もその方向で授業改善を行う。

2. 点検・評価

本年度の計画通り授業を行うことができた。特に、学部「初等理科」では、新たにウェブを利用した教授ツールを作成し、授業で実際に利用した。今年度より担当した科目であるため、当該ツール利用による改善の有無を判断することはできないが、多人数の授業において、学生の授業参加を促進するのに有用なツールであると考えている。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

学部教育においてはより高度な理科内容の習得・定着を目指し、演示実験を通して寄り具体的に内容を見せるよう努力する。また、教養基礎科目「科学と環境」では、具体的内容からより抽象的と思われる内容もあえて避けることなく取り扱うことにより、学生の思考能力を養成することを目標とする。

2. 点検・評価

「科学と環境」においては抽象的な内容にも学生がある程度着いて来れたと考えている。また、厳しく評価したことで、授業合格者のレベルは高くなったものと考えている。

II-2. 研究

1. 目標・計画

従来推進してきた準安定液体の熱力学および分光学的研究をより深めるため、これまで以上に学部学生および大学院生との共同研究を進める。具体的には、水素結合性溶液の溶液粘度測定と亜リン酸トリフェニルの相転移速度の測定を行う。

2. 点検・評価

亜リン酸トリフェニルの相転移速度の測定については、新たな装置を使って等温下における相転移速度の測定を行うことができた。また、従来観察することのできなかつた平衡液一液相転移を観測することに成功した。水素結合性溶液の粘度測定についても、従来の測定装置に少し手を加えて乾燥窒素雰囲気中で測定できるように修正した。このことで、吸湿性の非常に高いエチレングリコールの粘度測定を広い温度範囲にわたって成功した。

II-3. 大学運営

1. 目標・計画

大学院入試委員として大学運営に関わる。

2. 点検・評価

大学院入試委員として、大学院合格者の質の確保に心血を注いだ。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

○日本化学会中国四国支部徳島県地区幹事として学会運営に積極的に携わる。また, 同学会主催の高校化学グランプリに関連して, グランプリの問題解説会を開き, 地域高等学校との連携を図る。さらに, 今年度の化学オリンピック開催に積極的に協力する。
○従来より実施してきたフレンドシップ事業を続けることにより地域の小学校との連携を図る。また, 同関連活動を統合できるよう働きかける。

2. 点検・評価

○日本化学会徳島地区幹事として幹事会に出席した。
○同上幹事として, 学内意見のとりまとめを行った。
○徳島県教育委員会と連携し, 全国高校化学グランプリ過去問題解説会を開催した。また, 講師として問題解説を行った。
○日本化学会西日本大会実行委員として, 学会ホームページの管理を担当した。講演申込, 参加登録, 講演要旨原稿受付用ソフトウェアを開発し, サイトの管理運営を行った。
○全国高校化学グランプリ第1次選考徳島会場の実施協力者として活動した。
○「初等中等教科教育実践Ⅲ」において, フレンドシップ活動の開催を主導し, 地域小学校との連携の上, 学生と児童との交流の機会を提供した。また, 年度末に鳴門教育大学フレンドシップ事業シンポジウムを開催した。
○JICAの事業「平成23年度国別研修アフガニスタン『教師教育強化プロジェクトフェーズ3』」において, 化学分野を担当し, 研修員のモデル授業作成およびそのビデオ撮影に協力した。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)